

先日、3日間とも天気にも恵まれ各学年楽しく慌ただしくお芋ほりに行ってきました。軽く土を起こしてもらってあったので、子どもたちもバナナのようにくっついたままのサツマイモをそのまま引き抜くことができ、お芋のなり方と重さを歓喜の表情で実感しておりました。年少さんにはまだ少し重すぎたようですが、その日に自分で直接持って帰る1本を選ぶのに皆かなり迷っていたようです。

今年は天候の変動が大きすぎて心配していましたが、そんなことはなかったかのようなサツマの出来に、改めて園のサツマを自分で作るのをやめてよかったなぁと子どもたちとは違う実感をしてしまいました。私がやっていたらきつとこの10月号は謝罪文になっていたことでしょう。自分たちでまかなえるように、が園の方針の一つになっているように、若いころからなるべく自分、自分たちでできることは自分で。との思いでやってきたのですが、今思えばうまくいかなかったことも数知れず。その度に誰かに助けられその場をしのいできたのだなぁと振り返ります。

運動会でも（普段の生活でもそうですが）、クラスがチームとなって競技や演技や相談を行うことが増えてきます。今子どもたちがやっている練習を通して、自分や他者の特性をあらためて気付かされたり、例えば苦手なものに気付いても他者の姿からコツをつかめたり、得意なものは人に見せられたり。それは直接的であることも間接的であることもありますが、つまりは人を頼りにしたり、人に頼られたりしながらの相互関係の中で彼らは成長しているのをこれまた実感します。そんな練習風景を目の当たりにできる自分を幸せに感じ、その背景あつての当日の運動会なんですよ、ということも保護者の皆様にお伝えしておかねばなりませんね。

子どもたちは先生を頼りにしているのはもちろんですが、多分それ以上に先生たちは子どもたちを頼りにしているのですよ。「頼むよー、子どもたち！」（願）と。 We do! うんどーかい! by TAIZO

今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）

3歳

- ・ 簡単な集団遊びに興味をもち、ルールなども理解してくる
- ・ 運動会が終わった後も、友達とかけっこやダンスをしたり、年中・年長児の競技をまねたりしながら、新たな遊びに挑戦してみようとする

4歳

- ・ 散歩などをしながら、秋の自然に興味、関心をもち、触れて遊ぶ
- ・ クラスのみんなと一緒にする遊びや活動に、喜んで取り組もうとする
- ・ 仲間のよさを認め合い、評価し合える雰囲気ができる
- ・ 自分なりの思いやイメージをいろいろな方法で表現したり、相手に伝えようとする

5歳

- ・ 運動会を体験したことにより、クラスや学年など集団のまとまりが強くなっていく
- ・ 友達と考えを出し合いながら、互いのアイデア、イメージを共有できる
- ・ 様々な材料に触れ、素材の特徴を感じながら、製作あそびを楽しむ